

スポーツ少年団活動に関するアンケート調査結果

(公財)新潟県スポーツ協会
新潟県スポーツ少年団

1 調査の概要

(1) 調査の目的

日本スポーツ少年団では、新型コロナウイルス感染拡大による団員数の大幅な減少や国が主導する休日の部活動の段階的な地域移行など、子どもを取り巻く環境が変化する中で、今後のスポーツ少年団の活動を不安視する意見・要望が多数寄せられたことを受け、スポーツ少年団緊急対策プロジェクトを設置し、各都道府県スポーツ少年団等の意見を聴取するなど、様々な視点で検討を進めております。本県におけるスポーツ少年団活動の活性化に向けた方策を検討するため、アンケート調査を実施します。

(2) 調査対象

令和3年度スポーツ少年団登録単位スポーツ少年団（以下、「単位団」という。）
新潟県内 553 単位団

(3) 回答単位団数（以下、「回答数」という。）

255 団（46.1%）

(4) 調査方法

Web 調査（Web 回答フォームをメールで配信）

(5) 調査期間

令和4年1月11日（火）～1月28日（金）

2 調査結果

【基本情報】

(1) 回答単位団所属市町村（回答数順）

市町村	新潟市	長岡市	燕市	三条市	新発田市	上越市	小千谷市	村上市
回答数①	60	41	23	21	20	12	11	8
回答総数に対する割合	23.5%	16.1%	2.4%	8.2%	4.7%	9.0%	4.3%	1.6%
市町村別登録団数②	116	106	41	32	27	25	28	14
①／②	51.7%	38.7%	56.1%	65.6%	74.1%	48.0%	39.3%	57.1%
市町村	魚沼市	加茂市	十日町市	阿賀野市	胎内市	見附市	糸魚川市	佐渡市
回答数①	7	6	6	6	6	4	4	4
回答総数に対する割合	1.2%	3.1%	2.7%	1.6%	1.2%	2.4%	2.4%	1.6%
市町村別登録団数②	32	14	18	16	14	17	4	13
①／②	21.9%	42.9%	33.3%	37.5%	42.9%	23.5%	100%	30.8%
市町村	柏崎市	五泉市	聖籠町	南魚沼市	津南町	阿賀町	粟島浦村	弥彦村
回答数①	3	3	3	2	2	1	1	1
回答総数に対する割合	7.8%	2.4%	0.8%	1.2%	0.8%	0.4%	0.4%	0.4%
市町村別登録団数②	4	10	7	3	4	1	1	3
①／②	75.0%	30.0%	42.9%	66.7%	50.0%	100%	100%	33.3%

(2) 競技種目 (回答数順)

競技種目	回答数①	回答総数に対する割合	競技別登録団数②	①/②
軟式野球	80	29.1%	145	55.2%
バレーボール	27	9.8%	43	62.8%
空手道	24	8.7%	55	43.6%
サッカー	24	8.7%	52	46.2%
剣道	21	7.6%	48	43.8%
柔道	15	5.5%	25	60.0%
ミニバスケットボール	14	5.1%	43	32.6%
バスケットボール	11	4.0%	11	100%
その他	10	3.6%	10	100%
少林寺拳法	8	2.9%	19	42.1%
卓球	8	2.9%	11	72.7%
バドミントン	7	2.5%	23	30.4%
ソフトテニス	5	1.8%	13	38.5%
ドッジボール	5	1.8%	5	100%
陸上	3	1.1%	4	75.0%
ラグビー	2	0.7%	2	100%
合気道	1	0.4%	1	100%
アルペンスキー	1	0.4%	4	25.0%
競泳	1	0.4%	3	33.3%
ショートトラック	1	0.4%	1	100%
銃剣道	1	0.4%	1	100%
テニス	1	0.4%	3	33.3%
飛込	1	0.4%	1	100%
なぎなた	1	0.4%	1	100%
ノルディック	1	0.4%	3	33.3%
馬術	1	0.4%	2	50.0%
ホッケー	1	0.4%	1	100%

(3) 回答者登録区分

- ・指導者 【回答数 193 75.7%】
- ・役員 【回答数 30 11.8%】
- ・スタッフ 【回答数 24 9.4%】
- ・その他 【回答数 8 3.1%】

※「その他」は、スポーツ少年団登録区分（指導者・役員・スタッフ）以外で回答のもの。

【スポーツ少年団登録について】

(1) スポーツ少年団の「理念」について、下記から1つ選択してください。(回答数 255)

- ・スポーツ少年団の「理念」について知っている【回答数 247 96.9%】
- ・スポーツ少年団の「理念」について知らない【回答数 8 3.1%】

(2) 貴単位団がスポーツ少年団に登録する理由について、当てはまるものすべてを下記から選択してください。なお、「その他」を選択した場合は、その内容を記入欄にご記入ください。(複数回答可) (回答数 803)

- ・スポーツ少年団主催の大会(全国・北信越・県・地区・市町村)があるから【回答数 168 20.9%】
- ・以前からスポーツ少年団に登録しているから【回答数 147 18.3%】
- ・スポーツ少年団の理念に賛同しているから【回答数 143 17.8%】
- ・施設使用料の減免があるから【回答数 135 16.8%】
- ・施設が優先的に利用(予約)できるから【回答数 62 7.7%】
- ・指導者の講習会や研修会があるから【回答数 56 7.0%】
- ・公的な支援(補助金等)があるから【回答数 51 6.4%】
- ・スポーツ少年団のネームバリューがあるから【回答数 20 2.5%】
- ・リーダー活動や国際交流活動等があるから【回答数 12 1.5%】
- ・その他【回答数 5 0.6%】
- ・特に理由はない【回答数 4 0.5%】

◇その他回答内容

- ・子供達や保護者からの、存続の要望が有るため
- ・行政や協会との連携が取りやすいため
- ・子供たちの健全育成のため
- ・市町村合併前から登録していたから
- ・新潟陸上競技協会からジュニア陸上の立ち上げ要請を受けたから

(3) 前問(「スポーツ少年団に登録する理由について」)で、「特に理由はない」以外を回答した方にお聞きします。選択した項目のうち、最も重視している点を下記から1つ選択してください。(回答数 154)

- ・スポーツ少年団主催の大会(全国・北信越・県・地区・市町村)があるから【回答数 58 37.7%】
- ・施設使用料の減免があるから【回答数 31 20.1%】
- ・スポーツ少年団の理念に賛同しているから【回答数 29 18.8%】
- ・以前からスポーツ少年団に登録しているから【回答数 17 11.0%】
- ・施設が優先的に利用(予約)できるから【回答数 8 5.2%】
- ・公的な支援(補助金等)があるから【回答数 4 2.6%】
- ・スポーツ少年団のネームバリューがあるから【回答数 3 1.9%】
- ・指導者の講習会や研修会があるから【回答数 2 1.3%】
- ・その他の内容【回答数 2 1.3%】
- ・リーダー活動や国際交流活動等があるから【回答数 0 0%】

【団員について】

(4) スポーツ少年団に登録していない子ども(団員)について(回答数 255)

- ・スポーツ少年団に未登録の子ども(団員)はいない【回答数 181 71.0%】

- ・スポーツ少年団に未登録の子ども（団員）がいる【回答数 74 29.0%】

(5) 前問（「スポーツ少年団に登録していない子ども（団員）について」）で、「スポーツ少年団に未登録の子ども（団員）がいる」と回答した方にお聞きします。スポーツ少年団に未登録の子ども（団員）の人数を下記にご記入ください。（回答数 80 件）

- ・0人（回答数 3 3.7%）
- ・1人（回答数 5 6.2%）
- ・2人（回答数 12 15.0%）
- ・3人（回答数 5 6.2%）
- ・4人（回答数 7 8.7%）
- ・5人（回答数 6 7.5%）
- ・6人（回答数 6 7.5%）
- ・7人（回答数 3 3.7%）
- ・8人（回答数 3 3.7%）
- ・10人（回答数 8 10.0%）
- ・11人（回答数 1 1.2%）
- ・12人（回答数 1 1.2%）
- ・14人（回答数 1 1.2%）
- ・15人（回答数 3 3.7%）
- ・16人（回答数 2 2.5%）
- ・17人（回答数 2 2.5%）
- ・18人（回答数 1 1.2%）
- ・20人（回答数 4 5.0%）
- ・25人（回答数 1 1.2%）
- ・30人（回答数 2 2.5%）
- ・42人（回答数 1 1.2%）
- ・90人（回答数 1 1.2%）
- ・人数以外の回答（回答数 2 2.5%）

※未登録団員の合計数：726人

(6) 前問（「スポーツ少年団に登録していない子ども（団員）について」）で、「スポーツ少年団に未登録の子ども（団員）がいる」と回答した方にお聞きします。その理由について当てはまるものすべてを下記から選択してください。なお、「その他」を選択した場合は、その内容を記入欄にご記入ください。（複数回答可）（回答数 90）

- ・その他【回答数 40 44.4%】
- ・スポーツ少年団主催の大会に出場できないから【回答数 36 40.0%】
- ・登録料を支払いたくないから【回答数 13 14.4%】
- ・リーダー活動や国際交流活動等に参加できないから【回答数 1 1.1%】

◇その他回答内容

- ・登録期限後に入団したため【回答数 24】
- ・未就学児・低学年のため【回答数 7】
- ・申請のあとお試しで参加している
- ・入団したばかりだから

- ・1人は園児であり、2人は登録締め切り後に入団したから
- ・登録料を払いたくないのではなく、まだ払う段階ではない。4月以降登録予定
- ・スポーツ少年団の大会に出場しないから
- ・仮入団のため
- ・3年生から日本サッカー協会に登録するため、それに合わせる方針のため
- ・コロナウイルスの関係で大会がない
- ・市の登録期限が5月末であり、以後は補助金無しの扱いとなるため

(7) 中学生以上が団員登録している単位団にお聞きします。貴単位団で中学生以上が団員登録している理由について当てはまるものすべてを下記から選択してください。なお、「その他」を選択した場合は、その内容を記入欄にご記入ください。(複数回答可) (回答数 140)

- ・団員が登録を希望しているから【回答数 35 25.0%】
- ・指導者が勧めているから【回答数 35 25.0%】
- ・部活動の実施種目がないから【回答数 20 14.3%】
- ・その他【回答数 19 13.6%】
- ・保護者が勧めているから【回答数 11 7.9%】
- ・役員・スタッフが勧めているから【回答数 8 5.7%】
- ・リーダーとして指導者等のサポートや団運営に携わりたいから【回答数 7 5.0%】
- ・リーダー活動や国際交流活動等に参加したいから【回答数 5 3.6%】

◇その他回答内容

- ・スポーツ少年団の大会参加のため【回答数 10】
- ・中学生まで登録を可能としているため【回答数 3】
- ・施設利用の優遇【回答数 2】
- ・部活動と連動した活動をしている
- ・中学生ヤングバレーボールクラブのため
- ・学校の部活動では、技術指導ができない
- ・以前から登録しているから

(8) 貴単位団で中学生以上が継続して登録するための取組事例(例:卒団を廃止し、希望する団員は、指導者のサポート役を務めてもらっている。など)がありましたら下記にご記入ください。(回答数 33)

◇回答内容(主なもの)

- ・部活動以外で練習(活動)するため【回答数 7】
- ・特になし【回答数 7】
- ・指導者・初心者等のサポート【回答数 5】
- ・卒団がないため【回答数 5】
- ・それまでと同じように練習をする。ただし、フィジカル面も含めて、練習内容はレベルアップさせた指導を行なう
- ・下級生の指導を行う事は、自身の取り組み方につながると思うため
- ・高校生活動補助金対象
- ・柔道の形や段を取得したいという希望の中学生が多い
- ・小学生と同じ指導体制へ延長継続して組み込む
- ・中学での部活に入らない子の受け皿

- ・中学生は大会も有り毎年登録しているから
- ・中学生も競技者として参加している
- ・幼い頃から少年団【新体操】に加入しており、クラブ内で仲間づくりができていたため、引き続き自ら継続意識があるため

(9) 貴単位団の団員の受入が可能な学年等について、下記から1つ選択してください。(回答数 255)

- ・小学校低学年（1～3年生）から【回答数 134 52.5%】
- ・未就学児から【回答数 67 26.3%】
- ・特に制限はない【回答数 38 14.9%】
- ・小学校高学年（4～6年生）から【回答数 12 4.7%】
- ・中学生以上から【回答数 4 1.6%】

(10) 前問（「団員の受入が可能な学年等について」）で、「小学校低学年（1～3年生）から」、「小学校高学年（4～6年生）から」、「中学生以上から」と回答した方にお聞きします。その理由について当てはまるものすべてを下記から選択してください。なお、「その他」を選択した場合は、その内容を記入欄にご記入ください。（複数回答可）(回答数 241)

- ・指導者の人数に余裕がないから【回答数 69 28.6%】
- ・小学生等と一緒に活動することが難しいから【回答数 50 20.7%】
- ・未就学児（幼児）を指導できる指導者がいないから【回答数 42 17.4%】
- ・保護者等の同伴が必要であるから【回答数 29 12.0%】
- ・時間・場所がないから【回答数 28 11.6%】
- ・その他【回答数 23 9.5%】

◇その他回答内容

- ・小学生対象の単位団のため【回答数 7】
- ・大会等の参加資格がないため【回答数 4】
- ・学齢を問わず団員を集めたいから
- ・ヤングバレーボールクラブのため
- ・小学生の団員が多すぎて受け入れる余裕はない
- ・スポーツ安全保険を掛けられないので
- ・複数チームの合同チームだから
- ・とくになし 慣例
- ・低学年でもスポーツしたい子供たちがいると思うから
- ・指導者数に余裕がなく小学高学年からにしたいが、部員数が少ないから低学年からにしている
- ・団員数を確保するため
- ・活動時間が夕方からになるため
- ・登録料の問題
- ・女子野球が部活動にないため

(11) 貴単位団の団員の活動受入の終期について、下記から1つ選択してください。(回答数 255 件)

- ・小学6年生まで【回答数 137 53.7%】
- ・特に制限はない【回答数 72 28.2%】
- ・中学3年生まで【回答数 46 18.0%】

(12) 前問（「団員の活動受入の終期について」）で、「小学6年生まで」と回答した方にお聞きします。その理由について当てはまるものすべてを下記から選択してください。なお、「その他」を選択した場合は、その内容を記入欄にご記入ください。（複数回答可）（回答数 244）

- ・団員が部活動を始めるから【回答数 108 44.3%】
- ・中学生以上の団員登録希望者がいないから【回答数 30 12.3%】
- ・指導者の人数に余裕がないから【回答数 29 11.9%】
- ・中学生以上が参加できる大会が少ない（ない）から【回答数 27 11.1%】
- ・時間・場所がないから【回答数 22 9.0%】
- ・中学生以上を指導ができる指導者がいないから【回答数 15 6.1%】
- ・その他【回答数 13 5.3%】

◇その他回答内訳

- ・小学生を対象にしているため【回答数 3】
- ・学童野球チームだから
- ・ミニバスは小学生のスポーツだから
- ・中学生になると中学校単位のスポーツ少年団に加入するから
- ・団員が部活動以外の団体(シニアリーグ等)で活動を始めるから
- ・ルールが統一できない
- ・中学生になると中学生の部活動又はクラブチームに入部するため
- ・中学生の活動をサポートしていないため
- ・中学からは学校の部活動になるので
- ・ボールの大きさ、コート、ネットの高さが違うため、一緒に出来ない
- ・中学生は学校の部活があるため

(13) 貴単位団の障がいのある方の受け入れについて、現在の状況を下記から1つ選択してください。（回答数 255）

- ・受け入れしていない【回答数 168 65.9%】
- ・受け入れしている【回答数 87 34.1%】

(14) 前問（「障がいのある方の受け入れについて」）で、「受け入れしていない」と回答した方にお聞きします。その理由について当てはまるものすべてを下記から選択してください。なお、「その他」を選択した場合は、その内容を記入欄にご記入ください。（複数回答可）（回答数 280）

- ・障がいのある方の入団希望者がいないから【回答数 149 53.2%】
- ・障がいのある方を指導できる指導者がいないから【回答数 45 16.1%】
- ・競技の特性上、障がいのある方の受け入れが難しいから【回答数 37 13.2%】
- ・指導者の人数に余裕がないから【回答数 26 9.3%】
- ・施設、設備で問題があるから（バリアフリー対応ではない）【回答数 17 6.1%】
- ・その他【回答数 6 2.1%】

◇その他回答内容

- ・周りに、その様な人がいないので考えていなかった
- ・希望があれば受け入れるが今のところなし
- ・障害者スポーツは別カテゴリーになるため
- ・そもそも質問の意味が曖昧です。身体的障がいなのか？精神的障がいなのか？
- ・今まで障害者の申し込みがなかったため

- ・障害というのは、身体でしょうか？精神でしょうか？精神障害の子供は受け入れた事はあります

【スポーツ少年団活動等について】

(15) 貴単位団がスポーツ少年団活動の中で最も重視していることを下記から1つ選択してください。

なお、「その他」を選択した場合は、その内容を記入欄にご記入ください。（回答数 255 件）

- ・スポーツを通じた青少年の健全育成【回答数 234 91.8%】
- ・競技レベル（記録）の向上【回答数 14 5.5%】
- ・その他【回答数 6 2.4%】
- ・試合（大会）での勝利【回答数 1 0.4%】

◇その他回答内容

- ・地域に根ざした競技者を育てるため
- ・上に記載してある3つが当てはまる
- ・多様な運動経験の確保
- ・スポーツ（バレーボール）の楽しさを知ってもらいたい
- ・選手や保護者の重視項目が多様で、指導者はそれをまとめ切れず苦勞されている
- ・礼儀・向上心

(16) 県スポーツ少年団主催大会（県大会・地区大会）において、スポーツ少年団独自のローカルルール（例：試合への全員出場など）を設けることについてどう思いますか。下記から1つ選択してください。（回答数 255 件）

- ・賛同する【回答数 164 64.3%】
- ・分からない【回答数 56 22.0%】
- ・賛同しない【回答数 35 13.7%】

(17) スポーツ少年団活動を通じた SDGs（※下記参照）や社会貢献活動・教育活動の実践について、下記から1つ選択してください。（回答数 255）

- ・関心がある【回答数 135 52.9%】
- ・どちらでもない【回答数 105 41.2%】
- ・関心がない【回答数 15 5.9%】

(18) 貴単位団のスポーツ少年団活動を通じた SDGs や社会貢献活動・教育活動の実践について、下記から1つ選択してください。（回答数 255）

- ・必要性は感じているが単位団での実践は難しい【回答数 115 45.1%】
- ・実践していない【回答数 99 38.8%】
- ・既に実践している【回答数 37 14.5%】
- ・実践するつもりはない【回答数 4 1.6%】

(19) 前問（「スポーツ少年団活動を通じた SDGs や社会貢献活動・教育活動の実践について」）で、「既に実践している」と回答した方にお聞きします。実践事例の内容を下記にご記入ください。（回答数 38）

◇回答内容

- ・新潟県の取組に応じて対応
- ・美化活動

- ・地域の美化活動（ゴミ拾い）
- ・中学校の部活動と合同練習、大会参加などしています
- ・ごみ拾いなどのボランティア
- ・市のスポーツ少年団で実施する、行事等の活動に参加している
- ・ゴミ拾い
- ・利用している施設の清掃活動、毎年春の草取り清掃活動（市内の行事）
- ・性別や年齢に関係なく大人子供関係なく同じ目標にむかえる雰囲気づくり。各家庭が自家製のお茶を水筒に入れ各自が持参
- ・利用体育施設周辺のごみ拾い
- ・高齢施設へのボランティア活動やお祭り・行事への参加
- ・対象地域を定めない。発足時から、不登校児や特別支援学級の児童等々の入団に取り組み、子供達が相互の多様性を認め合いながら活動してきた
- ・美化活動、老人ホームでの演武披露
- ・社会福祉協議会への寄付（リングプルや使用済み切手提供）や学校体育への出前指導
- ・子どもたちの大きさに応じて用具を使い回しするようにしている
- ・剣道を通して、地域の青少年の健全育成、心身の修練を、目的として、質の高い教育をしている
- ・一日一善を合言葉にし、年に一度は地域の奉仕活動を実践している
- ・障害児を受け入れ仲間作りをする。男女の違いを超えて、人として育てている
- ・地域の祭りや学校の清掃など　ただ社会貢献や教育活動に参加する場、要請もない
- ・小学校、地域での清掃、施設維持管理活動
- ・積極的な学校施設の清掃、地域でのスポーツイベントの参加
- ・お楽しみ会や納会などの食事には各自皿・箸の持参をするなど
- ・地域イベントへの参加やクリーン作戦参加
- ・スポーツ施設周辺のごみ拾い
- ・学校の側溝清掃、草とり
- ・近所の桜並木道路のごみ拾い参加
- ・施設の清掃活動
- ・福祉施設への訪問活動、清掃美化活動など
- ・人間性の醸成のための礼節を重んじ活動を実践、あえてSDGsとは意識していないが
- ・地域活動（学校・コミュニティーセンターとの相互協力）
- ・地域の清掃活動
- ・老人ホームでの清掃活動（しかし、今はコロナで休んでいる）
- ・スポーツ活動の場の提供、子供の運動技術の向上
- ・ゴミ拾い
- ・男女平等
- ・地域の事業に参加協力している
- ・施設周辺のごみ拾い
- ・①市内児童館にて、【はじめての新体操教室 月1回1回300円】を実施（コロナ感染前まで）し、指導役にクラブの選手が担当している。参加費を児童館へ寄付している、②クラブ生による、古紙回収（コロナ感染前まで）回収した古紙を業者からトイレットペーパーに換えてもらい、普段利用している体育施設へ寄付して、市民利用者からご利用いただいている。◎新体操活動を通じて、子ども自身が「仲間と一緒にならば、自分も役に立てる」という意識を醸成している

(20) 前問（「スポーツ少年団活動を通じた SDGs や社会貢献活動・教育活動の実践について」）で、「必要性を感じているが単位団での実践は難しい」、「実践していない」、「実践するつもりはない」と回答した方にお聞きします。その理由について当てはまるものすべてを下記から選択してください。なお、「その他」を選択した場合は、その内容を記入欄にご記入ください。（複数回答可）（回答数 472）

- ・ノウハウがないから【回答数 125 26.5%】
- ・人手がないから【回答数 94 19.9%】
- ・時間がないから【回答数 93 19.7%】
- ・機会がないから【回答数 82 17.4%】
- ・資金がないから【回答数 56 11.9%】
- ・必要としていないから【回答数 13 2.8%】
- ・その他【回答数 9 1.9%】

◇その他回答内容

- ・問いに当てはまるものがない
- ・現在の活動が「3.すべての人に健康と福祉を」に該当していると考えられるが、SDGs として取り組んでいる認識がないため
- ・チームの意思決定を一手に握る指導者の賛同を得るのが難しい
- ・スポーツ少年団そのものが社会貢献や SDGs な活動だと思っているから
- ・知らなかった
- ・学校として地域活動の支援をしていて重複する部分が多い
- ・まだクラブ自体の醸成が進んでいないから
- ・落ち葉拾いやゴミ拾いのボランティア活動を行っている
- ・具体的にどのような活動のことを指しているか不明

(21) 日本スポーツ協会では、子どもが発達段階に応じて身につけておくことが望ましい動きを習得する運動プログラムとして、アクティブ・チャイルド・プログラム（以下、「JSPO-ACP」という。）の普及・啓発に取り組んでおります。JSPO-ACP について、貴単位団の状況を下記から 1 つ選択してください。（回答数 255）

- ・JSPO-ACP を知らない【回答数 106 41.6%】
- ・JSPO-ACP を知っているが、スポーツ少年団活動に取り入れていない【回答数 96 37.6%】
- ・既に JSPO-ACP をスポーツ少年団活動に取り入れている【回答数 42 16.5%】
- ・JSPO-ACP をスポーツ少年団活動に取り入れるつもりはない【回答数 11 4.3%】

(22) 前問（「JSPO-ACP の貴単位団の状況について」）で、「JSPO-ACP を知っているが、スポーツ少年団活動に取り入れていない」、「JSPO-ACP をスポーツ少年団活動に取り入れるつもりはない」と回答した方にお聞きします。その理由について当てはまるものすべてを下記から選択してください。なお、「その他」を選択した場合は、その内容を記入欄にご記入ください。（複数回答可）（回答数 211 件）

- ・ノウハウがないから【回答数 63 29.9%】
- ・時間がないから【回答数 54 25.6%】
- ・人手がないから【回答数 51 24.2%】
- ・機会がないから【回答数 27 12.8%】
- ・必要としていないから【回答数 13 6.2%】
- ・その他【回答数 3 1.4%】

◇その他回答内容

- ・定期的に伝統的な雑巾かけで筋トレし、準備体操でスキップ等している
- ・競技の特性に応じて、年齢を考慮しながらトレーニングを取り入れている
- ・指導者が自己の指導に自信をもっており、関心を示していない

(23) スポーツ団体ガバナンスコードについて、スポーツ団体が適切な組織運営を行うための原則・規範として、令和元年6月にスポーツ庁が策定したもので、単位団を含むスポーツ団体にはコードへの遵守状況について、年1回の自己説明・公表が求められています。スポーツ団体ガバナンスコードについて、下記から1つ選択してください。(回答数 255)

- ・あまり理解していない【回答数 110 43.1%】
- ・理解していない【回答数 71 27.8%】
- ・ある程度は理解している【回答数 54 21.2%】
- ・理解している【回答数 20 7.8%】

(24) 前問（「スポーツ団体ガバナンスコードについて」で、「理解している」、「ある程度は理解している」と回答した方にお聞きします。自己説明・公表について、現時点での状況を下記から1つ選択してください。(回答数 85)

- ・自己説明・公表のための準備はしていない（環境が整っていない）【回答数 60 70.6%】
- ・既に自己説明・公表している【回答数 10 11.8%】
- ・自己説明・公表のための準備をしている【回答数 9 10.6%】
- ・自己説明・公表をするつもりはない【回答数 6 7.1%】

【休日の部活動の段階的な地域移行について】

(25) 国が主導する「休日の部活動の段階的な地域移行」について、その内容をどの程度、理解されていますか。現時点での状況を下記から1つ選択してください。(回答数 255)

- ・ある程度は理解している【回答数 139 54.5%】
- ・あまり理解していない【回答数 54 21.2%】
- ・理解している【回答数 50 19.6%】
- ・理解していない【回答数 12 4.7%】

(26) 前問（「休日の部活動の段階的な地域移行について」）で、「理解している」、「ある程度は理解している」と回答した方にお聞きします。貴単位団は部活動（中学校）の受け皿（受け入れる組織）になることは可能ですか。下記から1つ選択してください。(回答数 206)

- ・受け皿になることはできる【回答数 97 47.1%】
- ・受け皿になることはできない【回答数 69 33.5%】
- ・分からない【回答数 40 19.4%】

(27)（「部活動（中学校）の受け皿になることについて」）で、「受け皿になることはできない」と回答した方にお聞きします。その理由について当てはまるものすべてを下記から選択してください。なお、「その他」を選択した場合は、その内容を記入欄にご記入ください。(複数回答可) (回答数 166)

- ・指導者の人数に余裕がないから【回答数 58 34.9%】
- ・時間がない（合わない）から【回答数 42 25.3%】
- ・部活動（平日の活動）との連携に不安や課題があるから【回答数 32 19.3%】

- ・その他【回答数 19 11.4%】
- ・中学生を指導ができる指導者がいないから【回答数 15 9.0%】

◇その他回答内容

- ・活動する場所がない。
- ・市スポーツ少年団で「週3回、1回の練習は2時間まで」という活動基準と、それ以上の練習は罰則を与えるという罰則規定を今年度から設けられたため。中学生、高校生の会員を受け入れている以上、スポーツ少年団を辞めるしかないと思っております
- ・小学校卒業後の活動(大会など)がないため
- ・場所の確保が難しい
- ・市内に空手道が部活動としてある学校がない
- ・小学生を団員対象としているため
- ・すでに中学校野球部の社会体育団体があるため
- ・当競技を部活動として取り組む学校はないため、連携はないと思われるため
- ・学童（小学生）のみを対象とした活動であるため
- ・少年団としては難しいが、個人での協力は可能
- ・卒団生の殆どがクラブチームに入るため
- ・競技枠がないから
- ・練習会場の確保
- ・中学部活動がすでにあるため
- ・小学生と中学生では体力差が大きく、一緒には出来ない
- ・場所の確保、中学生の大会への参加の可否が不明
- ・中学生を対象とした活動をしていないから
- ・指導者が確保できたとしても、当団の内情からこれ以上組織を大きくできない
- ・受け皿になるべく、活動場所の確保が不可能である。（現時点でも活動できる場所が確保できていない）

(28) 休日の部活動の段階的な地域移行について、現在の状況を下記から1つ選択してください。なお、「その他」を選択した場合は、その内容を記入欄にご記入ください。（回答数 255）

- ・部活動と連携は考えていない【回答数 103 40.4%】
- ・部活動と連携していきたい【回答数 99 38.8%】
- ・既に部活動と連携している【回答数 29 11.4%】
- ・その他【回答数 24 9.4%】

◇その他回答内訳

- ・地域において必要とされるのであれば取り組みたい
- ・今後の地域の状況を見ながら判断したい
- ・市内に空手道が部活動としてある学校がない
- ・部活動がない
- ・当競技を部活動として取り組む学校はないため、連携はないと思われるため
- ・当団の指導者 OB が部活動の指導にあたっているが、スポーツ少年団との連携についてはまだ未定である
- ・部活動としての活動がされていない
- ・部活動との連携が出来る方法があれば協議してみたい
- ・団として連携は難しいが、個人での協力は可能

- ・活動地域の中学校に活動種目の部活動がない
- ・地域の部活に空手道がないため
- ・指導者が少ない子どもの団体では、ボランティア活動の限界があるため、学校の部活動と連携ができる状況ではないと考えている
- ・市内の中学校に空手部がないため、出来れば連携していきたい
- ・連携していきたいが、出来るか不明
- ・こちらは連携したいが部活顧問が変わるたび関係性が変わる
- ・そもそも空手の部活がない
- ・合同での活動は無理だが、中学生のクラブチーム結成を目指そうと考えている
- ・以前、空手は暴力的だと言われた。また、中学体育の一環で武道体験を当団体に連絡・断りもなく、隣市の指導員で体験活動をされるなど、当団体への協力体制が全く感じられない
- ・部活動に種目がない
- ・市内の中学校にはバドミントン部がない
- ・地区内の中学校に剣道部がない
- ・部活動の種目にはない競技なので、何ともいえない
- ・現在の少年団とは別に団体を作るのか、同じ団体で別メニューの練習をするのか地域で考えている
- ・部活動がないから

(29) 前問（「休日の部活動の段階的な地域移行について」）で、「既に部活動と連携している」と回答した方にお聞きします。連携事例を下記にご記入ください。（回答数 29）

- ・部活動で不足している部分の指導、大会参加への斡旋
- ・多数の指導者からの練習・指導。大会・練習試合への参加呼び掛け
- ・早朝の合同練習、大会参加、練習道具備品の共有
- ・学校と連絡を取りながら、練習をするほか中体連の大会参加のサポートもしている
- ・中学部活がない場合練習に参加連絡をもらい小学生と中学生共に練習している
- ・部活動の練習を一緒に行っている
- ・月に一回ほど中学校のコートをお借りして、少年団、中学生が練習で交流している
- ・社体として部活の時間外で指導している
- ・学校の要請で部活動に指導者を派遣している（不定期）
- ・土日の部活動参加
- ・中学校部活動との合同練習
- ・部活動の時間以外は、受け入れている（夜間、休日）
- ・学校の部活では卓球の指導が出来ない
- ・部活動では外部指導者、少年団では代表者として活動している
- ・部活動の活動以外の時間に練習している
- ・土曜日の部活動への指導者の協力
- ・当ラグビースクールの生徒は市内中学校のラグビー部に入るので
- ・柔道専門の先生が不在のため、スポ少指導者が部活の顧問を行っている。3年継続中
- ・空手の部活動が存在していないが、当事者と学校間で話し合い、何名か「部活動」扱いにして貰った事があった
- ・既に連携しており、一部の指導者が中学生を対象に部活以外の活動指導も行っている。しかしながら全員参加には至らない状況もあり、学校での部活との整合が課題になっている

- ・中学生と定期的に合同練習を実施して連携している
- ・行政と協力している
- ・水泳部所属生徒の飛込競技の指導
- ・剣士会単位で参加できる大会や練習試合があれば、中学校の顧問の先生と相談し、剣士会で参加している（顧問の先生の引率なし）
- ・合同練習
- ・水泳部が特設水泳部になってしまったことと、指導者が平日指導できない
- ・所属する中学校に新体操の部活動がなく、クラブでの練習を部活動としているため
- ・学校と連絡して活動
- ・遠征や大会への顧問の先生と一緒に参加やスポ少指導者の中学部活の保護者への説明など

【総合型地域スポーツクラブとの連携について】

(30) 日本スポーツ協会では、将来的にスポーツ少年団と総合型地域スポーツクラブが連携・協働していくことを検討しております。貴単位団は、現時点で総合型地域スポーツクラブとの関わり（例：「団員が総合型地域スポーツクラブに加入している」、「総合型地域スポーツクラブの指導者がスポーツ少年団の指導に携わっている」など）がありますか。現時点での状況を下記から1つ選択してください。（回答数 255）

- ・関わりがない【回答数 220 86.3%】
- ・関わりがある【回答数 35 13.7%】

(31)（「総合型地域スポーツクラブとの関わりについて」）で、「関わりがない」と回答した方にお聞きします。その理由について当てはまるものすべてを下記から選択してください。なお、「その他」を選択した場合は、その内容を記入欄にご記入ください。（複数回答可）（回答数 240）

- ・総合型地域スポーツクラブとの連携の仕方が分からないから【回答数 91 37.9%】
- ・総合型地域スポーツクラブが近くにないから【回答数 88 36.7%】
- ・総合型地域スポーツクラブと連携する必要性を感じていないから【回答数 51 21.3%】
- ・その他【回答数 10 4.2%】

◇その他回答内容

- ・地元のソフトテニス連盟がすでに連携していると思われる
- ・競技の特性上、専門性が求められるため
- ・種目がないから
- ・存在すらわからない
- ・特に理由は無い
- ・知らないから
- ・今年、非営利の法人格を取得予定のため
- ・クラブ自体を知らなかった
- ・特に必要を感じないため
- ・初めて聞いたので良くわかりません

【その他】

新潟県スポーツ少年団へのご意見等がありましたらご記入ください。(自由記述)

○スポーツ少年団の理念等に関すること

- ・スポーツ少年団の理念を理解していない団体が多い。勝利至上主義、練習時間過多の団体が多いと感じる。
- ・競技に優劣など無いことを、県スポーツ少年団から公表することをご検討願いたい。マイナー競技に取り組む子供達にも誇りを持ってほしいと思う。現状、マイナー競技をやっている子供達は、市や県からの表彰や助成金を受けづらかったりする。これは、スポーツ少年団の理念やオリンピック憲章に反する、ゆゆしき状況だと考える。

○大会に関すること

- ・剣道団体戦エントリー方法が全ての単位団体に当てはまらない為、改善を希望します。
- ・中学生対象のスポーツ少年団の大会などを開催してほしい。
- ・少子化により団員が減少しています。また、数年前に比べ体力が無いことが不安です。技術うんぬんより走る事から指導しなければならない。勝敗にはこだわっていませんが大会となると試合に出られない子が出て来ます。平均に出してあげたい気持ちはありますが難しい選択です。もっと楽しめる大会(ゲーム)の機会があると良いと思います。小学生の内は選抜も必要ないと思います。誰もが楽しくスポーツが出来る環境を作ってほしいと思います。
- ・年に1回の大会では負けたら終わりです(だから勝ちにこだわってしまいます)
- ・コロナ禍で大会延期、中止、観客入場制限、無観客など運営について大変であるが県スポ少のいっそうの協力、後援をお願い致します。
- ・県大会以上の、全国大会へとつながる大会が必要。これが無いことから止めていく団体が多くある。
- ・上越地域でのイベント・大会・交流試合等を増やしてほしい。
- ・正直、全国交流大会がなければ加盟しない団も多いと思う。
- ・大会はトーナメント戦ではなく、リーグ戦としてほしい。できればレベルに合わせたグループで、学童野球は盗塁禁止・パスボールでの進塁禁止・1ボール1ストライクから開始・投捕間を1m短く、など肘肩の故障予防の対策をなるべく早く実現していただきたい。
- ・種目別の交流会を県少年団で開催すると各少年団にも一つの目標ができて子供達も励みになると思います。県対抗、北信越、全国大会的な事も視野に入れてみてはどうでしょうか？バスケが大好きな子達が集まっている団に陸上や体力テスト的な事を計画しても子供達は興味を示しません。各競技の特性も活かしつつ、他にも興味を向けられるような取り組みが良いと感じます。
- ・大会参加の資格を見直すべきと考えます。
- ・空手道に関して言えば、スポーツ少年団に未加入の団体が多く、県大会といってもレベルが低くなっている。
- ・陸上競技はなぜスポ少の県大会が開催されないのでしょうか？ひも付きの大会がないのはなぜでしょうか？

○スポーツ少年団の指導・指導者に関すること

- ・スポ少指導員の資格取得が難しいため、指導者の成り手がいない。
- ・財政的に苦しいのにスタートコーチ制度の実施で余計に経費が掛かるようになっている。
- ・指導者のキャリアアップ、指導力向上も理解しますが費用が高額、仕事を休んで取りに行く等、保護者の負担が増えれば増えるほど学童野球の人口は減っていきます。
- ・理想は高くてもまことに結構だが、指導する立場の人たちは小さな活動でも地域にかかわりたいと

ボランティアで指導などを行っている。スポーツ少年団組織に団が加入すると指導者講習や登録料など義務化されたり経費の掛かる時点で団登録を敬遠している小さい少年団は私の周りにも多数ある。登録している恩恵や意義が普段から感じられないからではないか。

- 当県では卓球のクラブ活動が盛んになってきているが、スポ少への加入は殆ど無しが現状である指導者2人以上の基準は、これ以上厳しくしないでほしい。 団の運営に支障を来たす。
- これから指導者の負担は大きくなると感じられる。ボランティアで活動するにも限度がある。指導者も生活があるため、補償制度を充実していかなければ、やりがいでだけでは今後の活動は危うい。良い計画を進めるのも良いが、その負担の軽減を考慮してもらいたい。
- 指導者ライセンス取得の負担、活動費の補助が無いに等しいなど、スポーツ少年団への加盟の意義（メリット）がよく解らなくなってきた。
- JSPO 公認コーチングアシスタントの登録料が個人負担。「無料奉仕」なのにと若い指導者が敬遠するので、人材が育たない。
- 私たち指導者も出来る限りのことは子供たちに与えていきたいと考えています。
- 指導者は叱れば直ぐに注意・指導が入ります。何もせず黙って指導していても子供たちは上達しません。叱り褒めて笑って泣いて…いろんな経験が自立への一歩となるはずです。
- 指導者の登録料は必要なのでしょうか？皆さん有志(ボランティア)で来ていただいているので、有資格者は必要だと思いますが、有資格者登録の為にお金がかかって、その有資格者が何人居ないと試合に参加できないというのは…子供達を成長の手助けをするための少年団だと思うので、何か主旨が違う様な気がします。
- 子供たちと一緒に活動する事で信頼を得て行きます。
- コンプライアンスの面で難しい環境ではありますが、お互いが成長できる環境を整えてほしいと思います。よろしくお願いします。
- 子供の育成やスポーツへの関わりについてはできる限りのことはしたいと思っているが、ボランティア活動としてどこまでできるかは議論が必要だと思う。

○部活動に関すること

- 令和5年度から中学生の部活動受け入れを市町村に委託する制度が始まると伺っておりますが、前述の通り市スポーツ少年団は活動基準、罰則規定を設けたので、受け入れる気がないのだと思います。市町村のスポーツ少年団と県スポーツ少年団との連携は取れているのでしょうか。市町村のスポーツ少年団が中学生以上の会員や競技志向の選手の受け入れを考慮してくれないのであれば、スポーツ少年団を退会するしかありません。
- 休日の部活動協力等の新潟県や所属の各市町村の方針が詳しく表明されていません。何を求めているのか等具体的な説明が必要と思います。
- 中学の部活動について、スポーツ少年団への負担増にならないか非常に心配している。正直、スポーツ少年団はこの事には関わらない方が賢明と思う。都市部と郡部では指導者や施設への移動距離等が格段の差があり、それがネックとなり計画や現状は理解出来ても実行には程遠いように感じている。スポーツ庁では本気で地域に丸投げしようと考えているならば、もっと現実を見つめ直すべきと思う。来年から段階的に実施する計画としているようだが、何も準備していない地域、地区がほとんどの状態で出来る訳がない。生徒が可哀そうだ。これから中学に行く子も親もどうなるのか不安な気持ちをぶつけてくる。スポーツ少年団で指導している事も何か空しく思えてきた。こんな状態が続くと再び学校が荒れる事にならないか心配だ。
- 中学校の地域部活動への移行と現在の競技別スポーツ少年団を連携させていくにしても、指導者確保の問題等で対応できる数は減り、残る団は競技スポーツとしての色が濃くなり、気軽にスポー

ツに取り組む機会は減っていくと思います。ただ、校依存で教師負担の大きい学校部活動も現実的ではないとも思いますので、競技横断的なスポーツ少年団、活動というものも各地域で整備されていけばよいと思う。

- ・少し的外れになるのか分かりませんが、小学校少年団と中学校部活との連携には幾つも課題があると思われまます。その課題を明確化し改善策案や改善事例を見える化しなければ、中々前へ進めない問題ではないかと感じている。
- ・スポーツ少年団が中学校部活の受け皿になることは必要と感じている。
- ・私たちの団体は、完全なボランティア活動のため、日々、参加できる指導者の人数が流動的です。（平日、休日ともに仕事が終わってから指導者は練習に参加、休日は家族と過ごす時間をさいて、家族に協力をお願いして、地域の子供達に指導している先生方ばかりです）地域活動の指導者の方たちは、学校の先生方とは違いますが、個々に指導者を継続していくため、日々、仕事や家族の協力など、様々な悩みを抱えているのが現状だと思います。今の指導者の現状では、学校の求めているレベルでの部活動の受け皿になるためには、組織として限界があると私どもは考えております。（過去、学校側と連携した外部コーチを経験し、現在は完全なボランティア活動を行っています）
- ・スポーツ少年団の指導者はボランティアである。お金（指導者報酬と子どもたちの会費）と時間（放課後活動時間への対応）人と場所（遠隔地の子どもたちへの移動支援や会場の確保）など各地域により様々な問題が出て来ると思います。色々と課題はあるが中学生が健全に明るく元気に部活動を出る環境を地域スポーツが支援することが求められている。行政からの積極的なアプローチをお願いします。

○総合型地域スポーツクラブに関すること

- ・もっと県へ総合型地域スポーツクラブへの支援を伝えてほしい。
- ・指導者の有資格者が少ないため、総合型スポーツクラブが事務局となり、スポーツ少年団登録を取りまとめて行っています。
- ・地域スポーツクラブに入っていれば、スポーツ少年団の保険は入らなくてもよいのでしょうか
- ・もっとさまざまな情報が欲しい。例えば、総合型スポーツクラブについてのこととか、地域でどのくらいのクラブ数があるのか、またどのようにして関わっていけるのかなど全くわからない。

○スポーツ少年団の普及・支援に関すること

- ・子ども達がよりよい環境で自ら選んだスポーツを行うことが出来るよう更なる補助・支援制度の構築を図ってほしい。
- ・小学生に配布できるような平易な文章で海外のスポーツ少年団に該当する組織活動を紹介する写真入り裏表紙1枚の資料などを年1回程度作成戴けると、本スポーツ少年団活動への子供の興味を高めることにつながる可能性が出てくると考えます。経費的に可能であれば、宜しくご検討をお願い致します。
- ・スポーツ少年団への加入団体が減っています。普及活動のノウハウを教えてください。
- ・施設面での劣化、老朽化が進んでいるが、財政面から更新が難しいようではある。しかし、スポーツを行う上で、公共施設の役割は大きいので、実際の利用者からの声が行政へ届くようにしてほしい。
- ・市町村合併で体育館の優先利用やスポ少への補助金が削減されており、スポ少活動の縮小があるため、また行政のスポ担当者も減少しており、児童生徒の減少により一層加入が減って来ている。
- ・スポ少加入人数による施設利用の優先と施設の無料化を行い、また単位団に補助金を出してスポ少の活性化を図る。

- ・各団の普及の為に、学校を通しての PR が沢山できるようにしていただきたいです。
- ・剣道人口がなかなか増えず、現状剣士会を継続していくことが難しくなっています。HP など剣道ができる道筋、紹介などは市ではやっけていただいているようですが閲覧数が増えているのでしょうか？また会員数の低迷により全国的に休会もしくは廃止している剣士会・剣友会もあると思います。その点について協会としてどのように行動しているのかをもう少し各小学校などにアウンスをしてもらいたいと思います。
- ・地区スポーツ少年団活動・運営の活性化に向けた指導支援。
- ・少子高齢化で 15 歳以下の子供たちの数は 40 年連続で減少化し、今では日本の人口全体の 12% になっています。私たち大人から入会を声掛け・斡旋するには限界に来ています。ぜひ小学生への声掛けを地域ぐるみでできる方策を検討いただきますようお願いいたします。
- ・中体連種目、高体連種目、国体種目になっていないマイナー競技に、もっとスポットを当てて頂きたい。

○スポーツ少年団登録に関すること

- ・人数が少なくなり、来年度は県の登録を見送る予定です。事務作業も多く、続けることは困難です。
- ・スポーツ少年団に所属していない団体の方が、競技人口が多い場合があります。
- ・登録費が負担になっている。
- ・少年団が少なくなっている理由は何なのでしょう？

○新型コロナウイルスに関すること

- ・コロナが落ち着いたら交流の場を設けて欲しいです！
- ・コロナ禍の中、県外遠征または大会等の明確な取り決め、自粛要請などを徹底してもらいたい。
- ・現在の社会情勢（コロナ感染）で仕方がないのですが、①体育館の閉鎖（令和 2 年 2 回）②少年団活動の自粛要請（1 月 17 日～31 日）が市事務局から連絡がきます。指導者やスタッフが少年団活動を広く周知したくても、子どもたちにとって、お休みが長く続けば続くほど、モチベーションの維持は難しいものと感じています。当クラブの団員は、コロナ前の 70%位の在籍数に減少しています。活動を休止ではなく、感染を広げないように安全に活動できる提案などを呼びかけていただけるとありがたいです。

○本アンケートに関すること

- ・アンケート取りまとめご苦労様でございます。
- ・このアンケートですが、正直分かりづらいです。何を目的としているのか？何を答えて欲しいのか？質問自体の情報が少なく、システム的なことを質問しているのか？メンタルことを質問しているのか？終始、回答に困る質問が多いと感じました。もう少し、回答する側の立ち位置で質問していただければ分かりやすいのですが。以上です。ありがとうございました。

○その他

- ・未来の子どもたちのために、各分野でみなさん地道な活動をされていることに敬意を表します。スポーツ少年団として活動をするには、子どもはもちろんですが、活動を担う指導者、スタッフが必要です。そのスタッフは、無償のボランティアです。そのスタッフに社会的に何らかの形で報いることができないか。社会的に認知されることにより、指導者はプライドを持ち勇気を持って責任を果たすことができるものと考えます。年寄りではないのです、今活動の中心として担っている人に 30 代 40 代から 50 代の指導者に社会的な認知が必要です。「子どもを育てて、よかった。がんばって、よか

った。ありがとう。」と社会が認知できる。そんな手段・方法がないものかと考えます。私のところでは、指導者、コーチといわれる人が12人ほどいます。そのスタッフが、子どもたちをランクに分けて、手分けをして週4日から5日子どもたちの指導をしています。総合型地域スポーツは、かなり以前からいわれてきた事です。日本のスポーツは、学校スポーツとして発展してきました。学校を抜きにしては考えられませんが、今は根本から考える時期にきていると考えます。今までの慣習、学校スポーツそのものの概念から開放する。人づくり、施設等も含めて考える。まったく新しい発想で、子どもたちを育てることが必要です。SDGs、30年後の日本、将来への時間は余り残されていないように考えます。皆さまの、益々の精進を期待するものであります。

- スポーツ少年団の役割は終わったと感じる。
- 年1？送ってこられる冊子の必要性を全く感じない。希望者に販売するのが良いと考える。
- いつもお世話になり、ありがとうございます。感染症対策を行ないながらの活動維持に向けた取り組み、心より感謝申し上げます。児童生徒の運動環境確保ために多くの大人が尽力されていることを痛感しております。指導者や保護者負担の大きさによる大人の疲弊で、今後子どもたちの活動のチャンスを狭めないか・・・部活動が変革の波にさらされる中、今後の在り方を心から憂慮しております。また、保護者や選手の熱量が個々に異なる中、それを取りまとめることのできるスキルや人間性を兼ね備えた指導者の育成・確保も難しく、単位団の維持・継続が難しくなる中、皆様のご苦勞に感謝しかありません。一年限りの保護者代表ではありましたが、良い勉強になりました。この経験を、今後活かしてまいります。感謝。
- スポーツ少年団と種目別競技団体との連携が必要と思う。
- 地元の少年団の活動に規約・規則等作成するにあたり県スポーツ少年団としての規範を示すべきかと思うが、この度の地元のスポーツ少年団本部活動に疑問を感じる。